

## ◆ 今週のコメント

- ・インフルエンザの報告は、先週に引き続き1例(40歳～49歳)となっていますが、全国では、定点当たり報告数が0.20と過去10年間と比べ最も多くなっています。都道府県別では、夏からの流行がおさまっていない沖縄県(4.72)のほか、神奈川県(0.57)や東京都(0.40)などの南関東地域や他の地域での報告数の増加も目立っています。
- ・流行性角結膜炎の定点当たり報告数が1.00で、過去5年平均値(0.60)を上回っています。年齢階級別にみると、全て30歳以上の報告で、30歳～39歳で40.0%を占めています。
- ・アメーバ赤痢の報告が1例あります。本年の累積報告数は18例で、過去7年間(平成12年～18年)の同時期までの累積報告数(4～17例)と比べて、最も多くなっています。性別は、男13例、女5例で、病型別にみると、腸管アメーバ症16例、腸管外アメーバ症2例となっています。推定感染経路は、経口5例、性行為2例、不明11例です。推定感染地域は、国内での感染が14例で77.8%を占めています。

## ◆ 今週のトピックス:〈RSウイルス感染症〉

- ・RSウイルス感染症の報告が4例あり、第40週以降連続して報告があります。詳細は、トピックスに掲載しています。

## ◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告は、今週はありませんでした。これまでの累積件数については、別紙に掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数報告の感染症

- ・二類:結核 7例(喀痰塗抹陽性 1例)【4月以降の累積報告数 271例(喀痰塗抹陽性 80例)】
- ・五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例

### 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.34	137
	② 水痘	0.39	16
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	14
	④ 突発性発しん	0.27	11
	⑤ ヘルパンギーナ	0.20	8
眼科	流行性角結膜炎	1.00	10

### 病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスB2型(1)	感染性胃腸炎(第41週)	FC	エコーウイルス5型(1)	かぜ症候群(第38週)	NP
エコーウイルス30型(1)	感染性胃腸炎(第42週)	FC	ノロウイルスGII型(1)	感染性胃腸炎(第42週)	FC

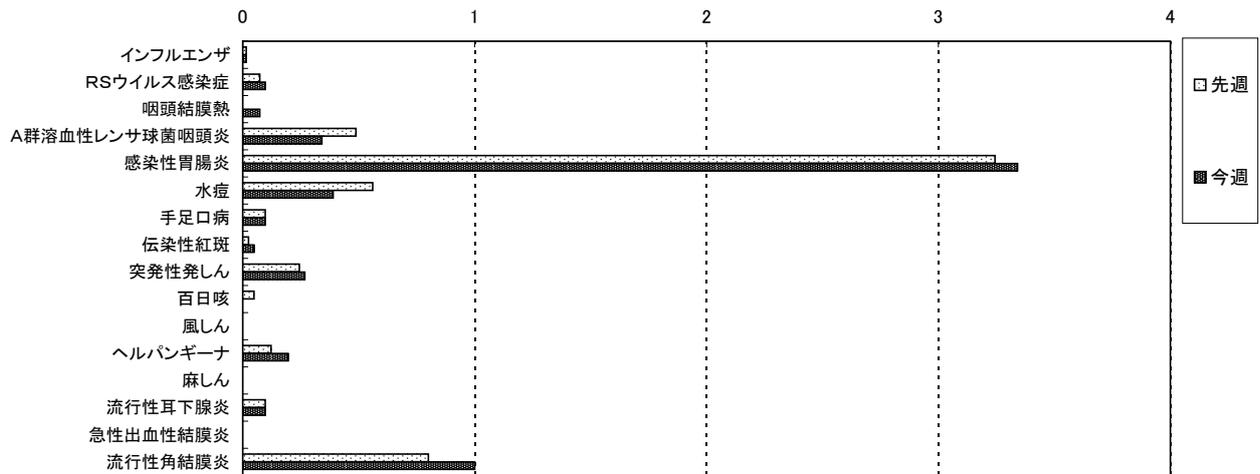
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈RSウイルス感染症〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

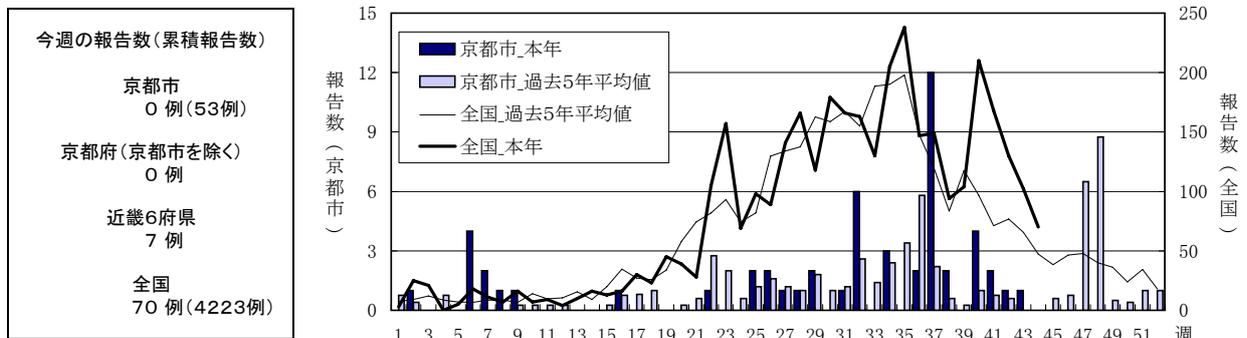
(注)京都市のデータは、平成19年11月12日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第44週)と先週(第43週)の定点当たり報告数の比較

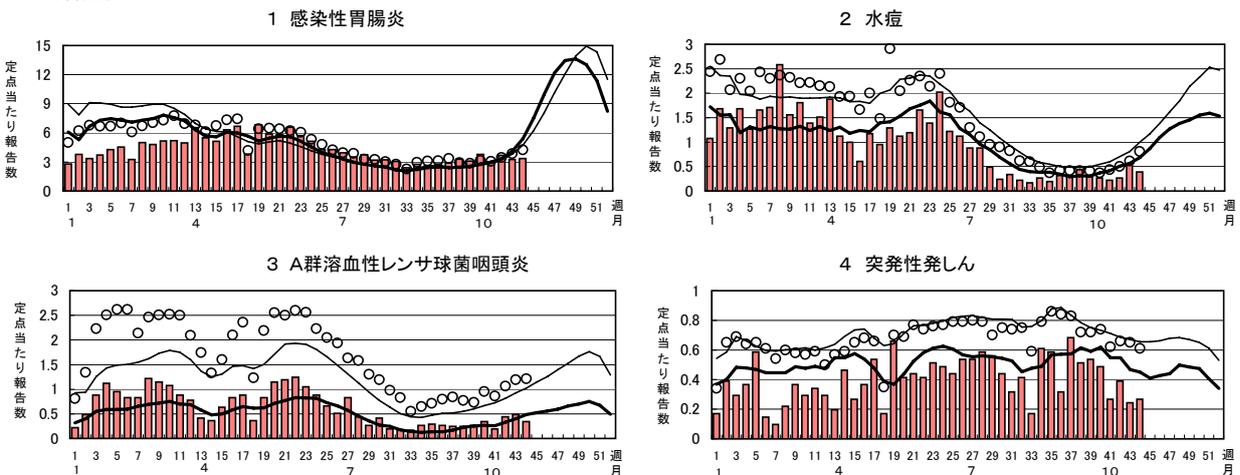


## 2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

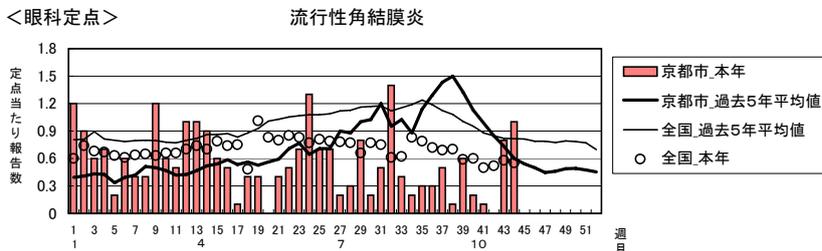


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



# 今週(第44週)のトピックス:〈RSウイルス感染症〉

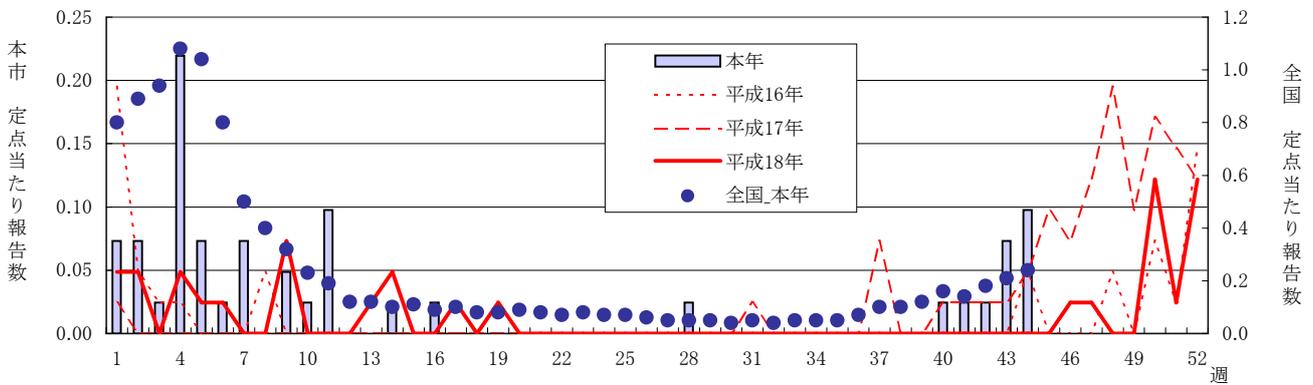
今週の報告は4例で、第40週以降連続して報告があります。全国では、第41週以降増加しています。

年齢階級別に第40週～44週の累積をみると、本市では全て2歳以下の報告で、0歳が7割(7例)を占めています。全国では、4歳以下から報告があり、0歳(40.9%)、1歳(32.2%)あわせて約7割を占めています。

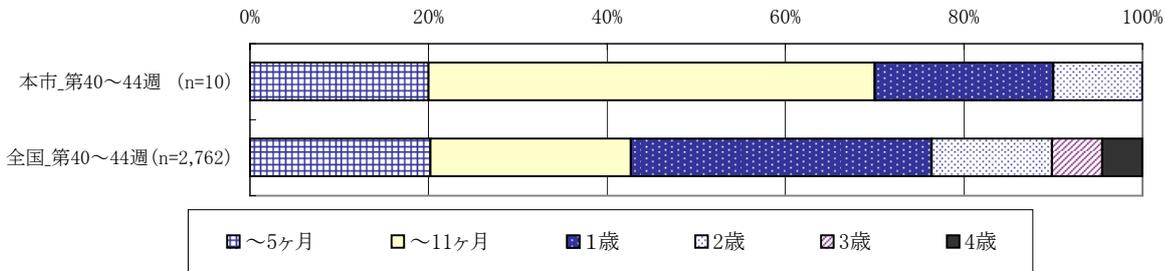
原因ウイルスであるRSウイルスの本市及び全国の今年の月別検出件数は、1月で最も多く、11月の報告は未だありません。平成18年は、本市では、1月、3月、12月の合計4例で、全国では、12月が最も多く、次いで1月、11月となっています。また、平成18年の全国のRSウイルスの検出件数(211件)のうち、RSウイルス感染症と診断されたのは19.4%で、肺炎などを含む下気道炎と診断されたものが最も多く(39.8%)となっています。

冬季に多くなる傾向があり、特に乳児では、重症化しやすい疾患となっていますので、今後の動向にご注意ください。

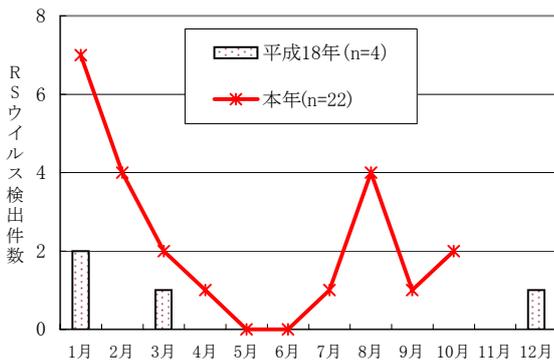
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



年齢階級別累積報告数 (本年第40週～44週まで)

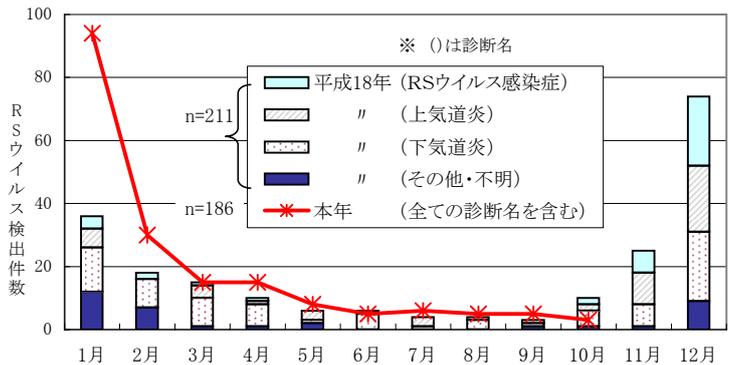


本市のRSウイルス検出件数の月別推移(本年及び平成18年)  
(平成19年11月12日現在)



※病原体定点からの検出件数

全国の検出件数の月別診断名別推移(本年及び平成18年)



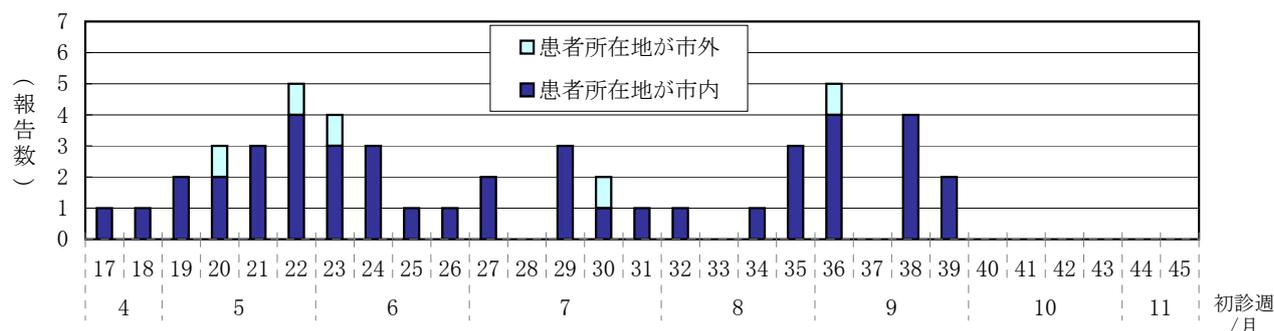
※病原微生物検出情報

# 京都市麻しん全数発生報告

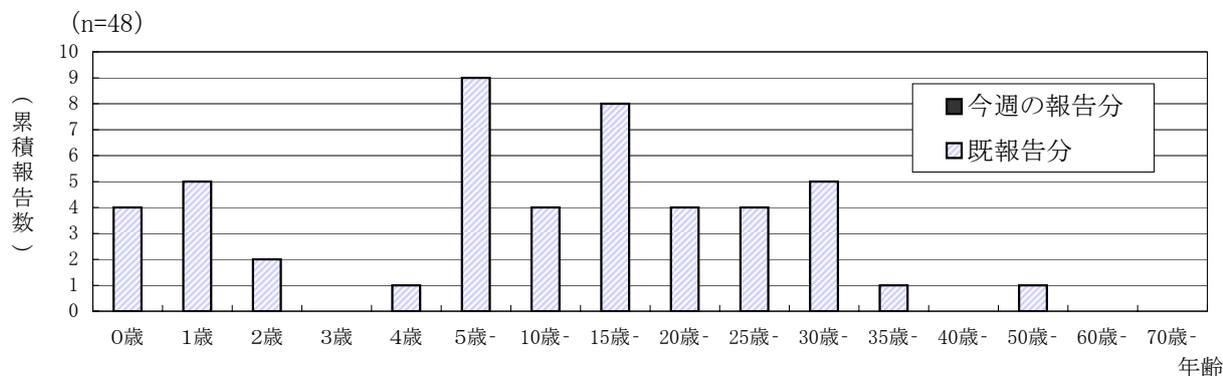
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から11月11日までの報告を初診週別に集計しています。(累積件数 48例)

## 1 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



## 2 年齢階級別



### <参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第44週

疾病,保健所別報告数

平成19年10月29日～平成19年11月4日

データ入手日:平成19年11月12日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	1	-	-	-	10	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	4	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1	-	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	1	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1	19	3	1	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	20	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
伏見	-	2	-	2	15	3	2	2	4	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	3	4	41	2	1	-	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	4	3	14	137	16	4	2	11	-	-	8	-	4	-	10	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	0.14	-	-	-	2.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	0.33	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	1.00	1.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.33	-	0.33	1.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	9.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.25	-	-	0.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.33	6.33	1.00	0.33	-	-	-	-	2.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	4.00	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	0.29	-	0.29	2.14	0.43	0.29	0.29	0.57	-	-	-	-	0.14	-	3.50	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.75	1.00	10.25	0.50	0.25	-	0.75	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	0.10	0.07	0.34	3.34	0.39	0.10	0.05	0.27	-	-	0.20	-	0.10	-	1.00	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第44週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年10月29日～平成19年11月4日

データ入手日:平成19年11月12日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	4	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	14	-	-	-	-	-	3	3	1	1	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	137	3	15	17	15	13	11	9	6	7	9	2	17	5	8	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	16	-	-	4	2	2	1	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	4	-	1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	11	-	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	8	-	-	2	1	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	4	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2	3	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.10	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.07	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.34	-	-	-	-	0.07	0.07	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.34	0.07	0.37	0.41	0.37	0.32	0.27	0.22	0.15	0.17	0.22	0.05	0.41	0.12	0.20	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.39	-	-	0.10	0.05	0.05	0.02	0.10	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.10	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.27	-	0.10	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.20	-	-	0.05	0.02	0.05	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.10	-	-	-	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	0.10	0.20	0.30	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第44週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年11月12日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	1	1
RSウイルス感染症	-	1	1	1	3	4
咽頭結膜熱	5	4	6	2	-	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	14	8	18	20	14
感染性胃腸炎	127	155	124	151	133	137
水痘	12	11	9	11	23	16
手足口病	7	2	3	5	4	4
伝染性紅斑	-	2	-	-	1	2
突発性発しん	22	20	11	16	10	11
百日咳	-	-	-	1	2	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	8	6	9	6	5	8
麻しん (※)	3	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6	3	4	6	4	4
急性出血性結膜炎	-	-	1	-	-	-
流行性角結膜炎	6	2	1	-	8	10
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	207	220	177	217	214	214

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	0.01	0.01
RSウイルス感染症	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.10
咽頭結膜熱	0.12	0.10	0.15	0.05	-	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	0.34	0.20	0.44	0.49	0.34
感染性胃腸炎	3.10	3.78	3.02	3.68	3.24	3.34
水痘	0.29	0.27	0.22	0.27	0.56	0.39
手足口病	0.17	0.05	0.07	0.12	0.10	0.10
伝染性紅斑	-	0.05	-	-	0.02	0.05
突発性発しん	0.54	0.49	0.27	0.39	0.24	0.27
百日咳	-	-	-	0.02	0.05	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.20	0.15	0.22	0.15	0.12	0.20
麻しん (※)	0.07	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.15	0.07	0.10	0.15	0.10	0.10
急性出血性結膜炎	-	-	0.10	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.20	0.10	-	0.80	1.00
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	5.50	5.52	4.47	5.29	5.81	5.97

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。